

(別紙3)

発大農第842号
令和6年9月6日

大山町獣肉解体処理施設
大山ジビエ振興会
会長 安達 忠良 様

大山町長 竹口 大紀
(公 印 省 略)

令和5年度 「大山町獣肉解体処理施設」 指定管理者業務評価書

施設名	大山町獣肉解体処理施設
施設所管課	農林水産課
指定管理者名	大山ジビエ振興会
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日（2年目）

【モニタリング終了後の総評】 事業計画書、収支予算書と実際の業務を比較して適切に管理運営されている。 収支としては、年度計画を上回る販売実績が上がり年々販売額が増加し稼働日数も増えており、経営改善に取り組んでいるが、一時受け入れ不能の状態となった。より一層の経営改善に努められたい。
【施設所管課】 事業計画書、収支予算書と実際の業務を比較して適切に管理運営されている。 新商品の開発を行い、イノシシ肉の消費拡大に努力されている。今後も新たな販路を開拓するなど、ジビエ振興により一層取り組んでいただきたい。 【第三者評価】 一時受け入れができない状態があった。1年間有害捕獲に従事しているため、受け入れも受け入れができる体制等を強化する必要がある。
【今後の業務改善方策等の特記事項】 【施設所管課】 受け入れ不能については、枝肉保管施設の整備や受け入れ態勢の強化を実情に合わせ検討する必要がある。 【第三者評価】 受け入れができない期間がなくなるよう施設や受け入れ体制の改善を積極的に検討する必要がある。

令和5年度「大山町獣肉解体処理施設」モニタリング評価表（令和6年 8月）

施設名	大山町獣肉解体処理施設	
施設所管課	農林水産課	
指定管理者名	団体名	大山ジビエ振興会
	所在地	大山町羽田井1419番地226
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日	
選定方法	公募・ <u>非公募</u>	
施設の設置目的	イノシシ及びニホンジカを地域資源として有効活用し、地域の活性化に資するため	
主な実施事業	個体の受入れ、解体処理、精肉処理及び販売	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認（65点）			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか	B	資料等確認
	安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	資料等確認
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	聞き取り調査
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	聞き取り調査
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料等確認
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	聞き取り調査
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料等確認
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料等確認

(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	業務中を含め施設管理が適切に行われた
(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	聞き取り調査
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	年度計画を大きく上回る販売成績が上がった
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	聞き取り調査
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	聞き取り調査
II サービスの質の評価（25点）			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料等確認
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	資料等確認
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	聞き取り調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	販売成績は向上したが、受け入れができない期間があった
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	資料等確認
III サービスの安定性の評価（10点）			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか	A	※2
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか	A	※3
【総評（所管課評価）】 協定書の基準を遵守しており、項目によっては協定書の水準より優れている。		合計点 (76) 点 / (100) 点 $\times 100 = (76)$ 平均点 (3.8) 点	

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※ 1 利用状況

項 目	本年度〔令和5年4～ 令和6年3月〕 A	前年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕 B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数	334	314	20 、109.5 (%)	
施設利用者数	—	—	(%)	
施設稼働率	91.2	86	5.2 、106 (%)	
事業開催数	—	—	(%)	

※ 2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕 A	前年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕 B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
利用料収入			(%)	
指定管理料			(%)	
自主事業収入	11,968,852	8,469,246	2,688,418、131.7 (%)	イノシシ肉販売額増
猪肉販売	10,434,131	7,953,664	2,480,467、131.1 (%)	処理量増加により販売量 増
コロッケ販売等	1,534,721	515,582	1,019,139、297.6 (%)	販路拡大により販売額増
〇〇〇〇			(%)	
その他	812	648,030	△647,218、0.1 (%)	出資金充当額の減
合 計	11,969,664	9,117,276	2,852,388、131.2 (%)	自主事業の収入増

(2) 支 出

項 目	本年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕 A	前年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕 B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	5,732,283	4,901,497	831,336 、116.9 (%)	
消耗品費	578,620	458,708	119,912 、126.4 (%)	外部イベント使用消耗品 費の増
光熱水費	855,376	893,342	△37,966 、95.7 (%)	
〇〇〇〇			(%)	
〇〇〇〇			(%)	
〇〇〇〇			(%)	
その他	4,803,385	2,863,729	1,939,656、167.7 (%)	コロッケ作成経費の増
合 計	11,969,664	9,117,276	2,852,388、131.2(%)	コロッケ作成経費の増ほか

※3 経営状況分析指標

項 目	本年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕 A	前年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕 B	対比 A－B、A/B	備 考
① 事業収支	0	0	0、0 (%)	
② 利用料金比率	—	—	(%)	
③ 人件費比率	47.8%	53.8%	△6%、88.8 (%)	
④ 外部委託費比率	—	—	(%)	
⑤利用者当たり管理 コスト	—	—	(%)	
⑥利用者当たり自治 体負担コスト	—	—	(%)	

① 事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていっているかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

② 利用料金比率：（利用料金収入/収入）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③ 人件費比率：（人件費/支出）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④ 外部委託比率：（外部委託費合計/支出）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤ 利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥ 利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

4 利用者からの苦情の内容とそれに対する町・指定管理者の対応や町から指定管理者への指導状況

指定管理者ホームページにHACCP取得について、間違った記載があると指摘があった
大山町は、ホームページを確認し正しい記載に修正するよう指導。
指定管理者は、指導を受けホームページ記載内容を修正

5 利用者アンケートの結果

施設の一般利用者なし